

樓 神 第四十六号 目 次

みのぶ山論……………	室	住	一	妙	(1)
日蓮聖人にみる人間観 (第四輯)……………	町	田	是	正	(14)
——懺悔することの意義を求めて——					
身延山初期における日蓮聖人……………	上	田	本	昌	(23)
——特に建治二年を中心として——					
日蓮聖人の方位観……………	宮	崎	海	優	(29)
日蓮聖人佐渡流罪の法制史的考察 (二)……………	中	里	悠	光	(51)
諸宗並に幕府批判……………					
身延山支院の成立と展開……………	林	見	是	晋	(68)
「仏教時間論」雑考……………	里	見	泰	穩	(92)
從地涌出の宝塔を求めて (その一、アフガニスタンの仏塔)……………	高	橋	堯	昭	(103)
碑銘幻想……………					
カールリ・カーンヘリ見学報告……………	望	月	海	淑	(118)
第二十六回 日蓮宗教学研究大会紀要……………					(130)
エドワーズ・コーンズによる釈尊伝と「仏教聖典」との表現方法の比較について……………	大	森		孝	(170)
「樓神」総目録 (創刊号大正二年〜第45号昭和48年まで)……………					(216)
学会彙報「昭和四十八年度」……………					
後 記……………					